

によど川

仁淀川町広報

2008

6月号



伝統の三神楽そろい踏み

大崎地区4小学校62年ぶりの同窓会

集落見聞録へツボイ

てくてく山紀行へ黒滝山へ天狗の森

伝統の三神楽そろい踏み

茅葺きの家で 幻想的な舞



五月十七日、池川神楽、安居神楽、名野川磐門神楽の合同公演「仁淀川町の神楽」が大渡ダム公園茅葺きの家で行われました。町村合併後、初めての共演とあって、会場には約二百五十人もの見物客が訪れ、神楽を堪能しました。

三神楽は、いずれも国の重要無形民俗文化財に指定されている伝統ある神楽で、十一月、十二月ごろに各地域の神社で奉納されています。

この日、茅葺きの家の前に設けられた舞台では、安居神楽、名野川磐門神楽、池川神楽の順で三十分ずつ舞が披露されました。暮れかかる時間に始まり、徐々に闇に包まれていく会場。照明に浮かび上がった舞台で幻想的な世界が繰り広げられ、見物客を魅了しました。



池川神楽

大神楽の一つに数えられてい

で池川神楽にだけに見られるり、これが伊予神楽となり、さらに至るといわれています。

(土居)
(土居)



山主之舞

安居神楽

その昔、佐藤甚太夫という神楽の名手が、ある大地震のとき、熊野権現、八所河内大明神、大滝かどや竜神、大山祇の大神に祈請して舞出しの神楽を舞い納め、地震を鎮めたと伝えられています。

その甚太夫の子孫に岡崎家があり、代々神楽太夫の家柄となっています。

〈奉納日〉 12月 8日 八所河内神社(成川・偶数年)
12月12日 熊野神社 (宮ヶ平・奇数年)



四天の舞 (池川神楽)



磐門之舞

名野川磐門神楽

平家落人の伝承といわれている神楽です。

〈奉納日〉	6月15日	菜野川神社(峠ノ越)
	11月 8日	二所神社(下名野川)
	11月11日	三所神社(名野川・偶数年)
	11月12日	大山祇神社(上名野川)
	11月15日	菜野川神社(峠ノ越)
	11月18日	北川神社(北川)
	11月21日	鎌倉三頭神社(下北川)
	12月 9日	滝ノ宮神社(二ノ滝)
	12月10日	大山祇神社(宗津)



児勤の舞

約400年の歴史を持ち、土佐三ます。

「児勤の舞」は、土佐の神楽の中舞です。出雲神楽が四国伊予に渡に池川に伝わり池川神楽として今

〈奉納日〉	11月23日	池川神社
	12月31日	池川神社

62年ぶり

大崎地区4小学校同窓会

懐かしさに話尽きず…



大崎小学校校庭で記念撮影

4月18日 大崎地区四小学校（大崎・寺村・加枝・久喜）の昭和二十年度

卒業生の同窓会が行われ、六十二年ぶりに懐かしい顔がそろいました。

町内外、遠くは三重県や大阪府からも駆けつけた参加者は四十八人で、大崎小学校校庭に集合しました。校舎や学校周辺の風景はすっかり変わってしまいましたが、大勢の児童を見守ってきたセンダンの木だけは当時と同じ場所にあり、この木の下で記念撮影をした後、会場を移動して食事会を開きました。

発起人の一人、藤原清一さん（川口）は「当時は、わら草履で学校に通い、勤労奉仕が多かった時代。終戦を迎えて卒業し、それぞれの道へと進みはや七十四歳になりました。同窓会では、最初は名札でお互いの名前の確認をしていましたが、じつくりと顔を合わせると昔のまま。忘れてはいませんでした。六十二年前にタイムスリップしたかのように、懐かしい話に花が咲きました。みんなが喜んでくれ、本当に良かったと思います」と話していました。

春の香りと味を満喫 中津明神ウド採り

4月29日 吾川スカイパーク周辺で、上名野川ウド生産組合主催による「中津明神ウド採り」が行われました。

当日は天候にも恵まれ、町内外からの親子連れなど約40人が参加しました。参加者は、午前中は生産組合が栽培したウドの収穫を体験し、昼食は採れたてのウドのほか、イタドリ、タケノコなど生産組合手作りの山菜料理を楽しみました。



いっぱい採れたかな？

山里の春を堪能

4月27日 しもなの郷周辺の中津川で「山村自然楽校しもなの郷 開校3周年記念第3回アメゴ釣り大会」が行われ、町内外から約60人が参加しました。

絶好の釣り日和に恵まれたこの日、参加者は思い思いの場所で釣りを楽し



み、60匹も釣った人もいるなど釣果は上々でした。

成績はアメゴの大きさ（長さ）で競われ、高知市から参加の中村展之さんが25.5㌢で優勝しました。

中村さんは家族4人で参加、「第1回大会に次いで2回目です。子どもも喜んでいとし、楽しませてもらいました」と、賞品のしもなの郷ペア宿泊券を手には笑顔で話していました。

西森儀幸さん



甫木元ご夫妻



町消防関係者も表彰される

高知県消防大会

4月23日 高知県消防大会が県民体育館で開催され、本町からも消防団長、副団長らが出席しました。

大会では、消防団員の体験発表や意見交換などが行われた後、消防防災に功労のあった消防機関および消防関係者が県知事、県消防協会長から表彰されたほか、消防庁長官表彰を受けられた方などの披露がありました。

本町の主な被表彰者は次の方々です。

消防庁長官表彰（永年勤続功労章）

西森 儀幸・別枝分団分団長

勤続三十三年

高知県知事表彰（内助功労者）

甫木元 由美（甫木元 泰寛・池川

分団部長夫人 勤続二十八年）



交通安全協会から大崎保育所へ贈り物

4月25日 「交通安全に心掛け、元気いっぱい、お利口で毎日を過ごしてください」と、交通安全協会大崎分会から日よけ帽子40個が大崎保育所に贈られました。

贈呈式は、北浦ふれあい公園で行われた大崎保育所のこいのぼり運動会に先立って行われ、同会役員の高橋三男さんから園児に帽子が手渡されました。

日よけ帽子は首まで覆うことができるため、強い日差しから肌を守ることができます。園児たちは、この帽子をかぶって、元気よく屋外で遊んでいます。



「ありがとう」元気な声でお礼が言えました

清流を守るう～川のクリーン作戦～

140人参加で清掃活動

5月17日 町内の川をゴミのないきれいな川にしようと、土居川、安居川などで「仁淀川町の川のクリーン作戦」が行われ、住民や池川中生徒ら百四十人が清掃活動に汗を流しました。

主催は「仁淀川の緑と清流を再生する会」などで行く実行委員会、今回は「四国の水・森に感謝キャンペーン」の一環で「再生する会」を支援するアサヒビール四国地区本部の社員ら約三十人も参加しました。

参加者は約二時間半、川辺を歩きながらゴミを拾ったり、北浦ふれあい公園の草刈りをしたりしました。集まったゴミは缶や瓶のほか、自転車や鉄くずもあり、参加者は、予想以上のごみの多さに驚いた様子でした。この活動によって、ゴミを捨てる人のマナー向上につながればと期待します。



ごみの分別をする参加者